



Q 緊急経済対策の用途は
A 即効ある事業に使用



瀧尻 行雄 議員

昨年、議会は群馬県の川場村を視察研修しました。「農業＋観光」をキャッチフレーズに集中投資がされ、流入人口70万人以上、そこには自主自立の精神が貫かれており、感銘を受けました。本町では、緊急経済対策交付金が、いわゆる総花的に使われたと思います。これが本町の将来への投資や活性化につながる手法なのか。

山崎 英樹 町長

昨年の緊急経済対策交付金は、本町の経済状況や今後の財政運営を考えて、町内商工業者や農家に即経済的な効果がある事業、公共施設の改修、各種団体等の懸

案事項に対応しました。平成23年度からは、地方交付税が減少することを念頭においた財政運営となります。産業振興は、農業を中心として、環境、健康との複合産業化を進め、関係分野を一体的に進めるため、産業振興課を設けたいと考えたところです。

Q 農政転換への対応は
A 制度に早く対応

瀧尻 議員

政権交代により、小規模農家を含め、意欲ある農家が多様な農業経営が展開できる農政へ転換しました。小規模であつても、農業を探索し技術を磨き、そして地域の農業指導もできる人材は財産です。集落営農の推進が図られてきた現実の中で、個人と集団を、今後どう整理して本町の農業を展開していくのか。

山崎 町長

小規模農家の位置付けは不明確ですが、国政と農家の間に立ち、激変に対応します。町内の農家個々をみれば、優れた技術を有した方がおられます。それを地域で伝承していくことが集落活性化につながると思います。また、将来の本町農業や集落維持、良好な農地の保全・活用に向け、国、県の制度を選択的に活用します。

Q 分庁方式の見直しは
A 別委員会で検討を



瀧尻 議員

町長は「新たな行革委員を委嘱し、これまでの検証と今後の検討をお願いした。さらなる改革には現況の分庁方式を見直し、事務の効率化を図る必要がある」と具体的な検討を始めた。と昨年と同様な発言がありましたが、分庁方式のあり方をどう考えているのか。

山崎 町長

昨年9月に新たな行革推進委員を任命し、行政内部事項を検証ならびに検討をお願いしましたが、庁舎については、検討の着手に至っていません。平成22年度から別な委員会を設置し、具体的な検討を始めます。

3月定例会
町政を問う
一般質問

Q 広告で財源確保を
A 即検討したい



安部 誠也 議員

平成22年度の町税の見込み額は、前年比2.8%減、歳入全体のわずか6.6%です。財政の健全化には、歳出の見直し、削減と歳入の増加を図る必要があります。注目されているのが広告事業です。

有料広告掲載に関する基準を策定し、町のホームページや広報誌、封筒などに有料広告を募集・掲載し、少額でも財源確保に努めるべきです。職員も自ら稼ごうという意識改革にも繋がると考えるが。

山崎 英樹 町長

新町発足当時、広告掲載を検討しましたが、見送った経緯があります。先行している市町村の実態調査を行いながら、財源確保、意識啓発の面からも、基準を定めて即検討します。

地球環境問題に対する本町の認識「地球温暖化防止計画」など、これまでの取り組み状況や今後の取組みは、併せて「飯南町地域エネルギービジョン」が策定されていますが、策定後における具体的実施状況と温室効果ガスの削減効果は。

安部 議員

平成17年度を基準年としてから平成22年度までに5%削減を目標に取組んでいます。庁舎の実行目標はゴミの削減、再生利用、再使用などの推進を行っています。その結果、庁舎でのCO2の削減数値は率にして60%弱の減になりました。地域エネルギービジョンの実施は、太陽光発電を2つの小学校に導入して、頓原庁舎に薪ボイラーを導入しました。

山崎 町長

森林が90%以上を占める本町は、CO2の吸収源という資源を持っており、バイオマス・エネルギーを生産できる環境もあり、この受け皿となり得ます。さらに、都市部の自治体や企業へ足を運び、排出権取引を起爆剤に森林整備の増加、地域産物の販路の拡大などによる雇用の拡大クレンジツ(外貨)の獲得で自主財源の増加を図る考えは、そのために、県の認証制度などを活用すべきだが、また、

Q 積極的な排出権取引を
A 都市部へ働きかける

安部 議員

わが国は温室効果ガスを1990年比で6%減らす計画です。森林が90%以上を占める本町は、CO2の吸収源という資源を持っており、バイオマス・エネルギーを生産できる環境もあり、この受け皿となり得ます。

山崎 町長

今後制定される島根県の認証制度を有効に活用して森林資源の管理整備を進めるなど、町の活性化に大いに利用していきたいと考えます。自治体や企業訪問する際にも話題に挙げておりますが、実現には至っておりません。積極的に都市自治体などへ働きかけをします。町総合振興計画には、町の政策、振興にとって有効なものですので、是非とも進めて行きます。

飯南町のホームページ

